

# スーパートラウト作出事業

前田 穰

## 目 的

青森県の特徴を備えた高品質な大型淡水養殖ニジマス生産に向けて、青森県の特産品を原料の一部とした餌料を与えて成長、肉質等の比較を行う。

## 材料と方法

### ニンニク・リンゴ入りの餌料を使った飼育試験

青森県の特徴を備えた高品質大型ニジマス生産に向けて、ニンニク・リンゴ入りの餌料を使って飼育試験を行い可食部の成分を比較した。ニンニク・リンゴ入り餌料は、通常のニジマス餌の原料に本県産ニンニク粉末 0.1%とリンゴ粉末 1%を加えて製造した。給餌試験は、2013年12月に採卵したドナルドソン系ニジマス全雌三倍体魚 20尾を使い、2015年9月3日から11月26日の85日間実施した。1日の給餌量は、試験開始から11月5日までは体重の1%、11月6日以降は体重の0.9%とした。週に1回体重測定を行い、給餌量を調整した。

対照区として同じドナルドソン系ニジマス全雌三倍体魚 20尾を使い、市販の色揚げ用餌料を与え試験区と同じ条件で飼育した。飼育試験後、背肉と腹肉の粗脂肪、タンパク質、灰分、水分を分析して餌料の違いによる成分を比較した。

## 結果と考察

### ニンニク・リンゴ入りの餌料を使った飼育試験

85日間の飼育期間中ニンニク・リンゴ入り餌料を与えた試験区及び通常の色揚げ用餌料を与えた対照区ともへい死はなかった。終了時の平均体重は試験区で1,707g、対照区で1,679gと成長に差はみられなかった(表1、図1~2)。

ニンニク・リンゴ入り餌料給餌区と対照区の背肉と腹肉で粗脂肪、タンパク質、灰分の分析を行った結果、両区とも腹肉の粗脂肪が背肉に比べて高い傾向がみられたものの、試験区と対照区間で粗脂肪、タンパク質割合で明らかな差はみられなかった(表2、図3)。

表1. ニンニク・リンゴ入り餌料による飼育結果

試験区	試験開始時		終了時 (85日後)	
	平均体重 (g)	収容尾数 (尾)	平均体重 (g)	生残尾数 (尾)
ニンニク・リンゴ入り餌料給餌区	1,142	20	1,707	20
対照区 (通常餌料給餌区)	1,166	20	1,679	20

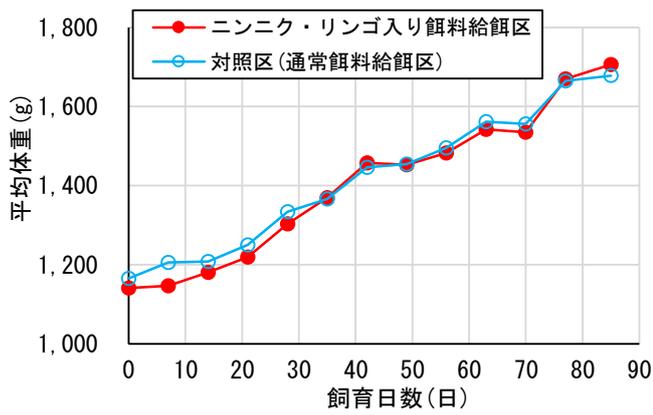


図1. ニンニク・リンゴ入り餌料給餌魚の平均体重の推移

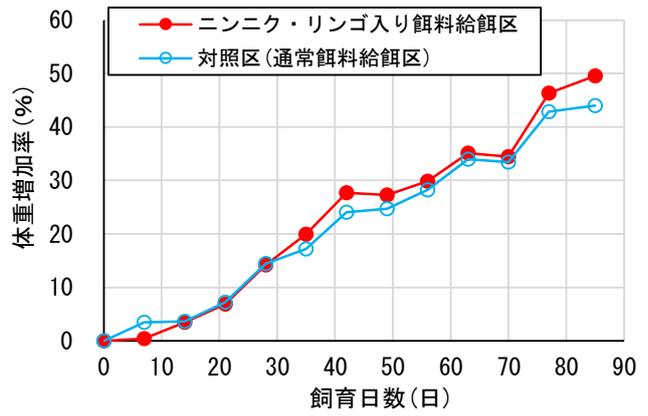


図2. ニンニク・リンゴ入り餌料給餌魚の体重増加率の推移

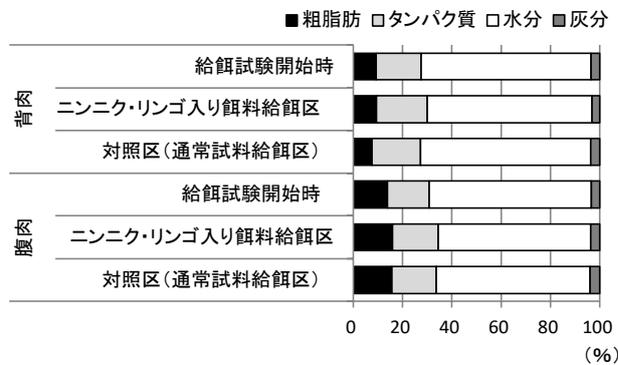


図3. ニンニク・リンゴ入り餌料給餌魚の一般成分分析結果

表2. ニンニク・リンゴ入り餌料給餌魚の一般成分分析結果

部位		試験区	粗脂肪	タンパク質	水分	灰分
背肉	給餌試験開始時		9.3	18.2	68.9	3.6
	ニンニク・リンゴ入りの餌料給餌区		9.4	20.6	66.9	3.1
	対照区 (通常餌料給餌区)		7.6	19.7	69.0	3.7
腹肉	給餌試験開始時		13.9	16.9	65.8	3.4
	ニンニク・リンゴ入りの餌料給餌区		15.9	18.6	61.8	3.7
	対照区 (通常餌料給餌区)		15.7	17.9	62.5	3.9